

災害・危機対応マネージャーの 活動報告



平成29年3月16日

災害・危機対応マネージャー 森西 康裕

災害・危機対応マネージャー 大宮 佐知子

コミュニティ防災 講座活動報告

ご隠居さんは
夏っちゃん達と
エイエイオー!

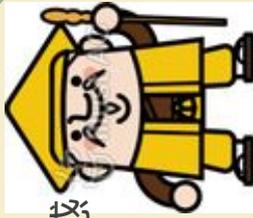


28年牟礼小校区防災訓練に伴う避難所運営訓練をやり終えた直後の笑顔

四国防災・危機管理特別プログラム修了生（香川大学2期生）
災害・危機対応マネージャー
森西 康裕



60才からのプランは大当たりの予感



自営業

- ・高齢者住宅維持管理 福祉住環境コーディネーター
- ・リフォーム 職業訓練学校終了
- ・大当たりの分譲地管理と太陽光パネル洗浄

防災

- ・四国防災・危機管理特別プログラム
- ・コミセン防災活動 高松市牟礼町

四国防災・危機管理 特別プログラム

文部科学省 大学出陣所共同教育推進事業

行政・企業防災・危機管理マネージャー 養成コース

地域社会を構成する自治体、企業、地域組織の
防災・危機管理の担い手として、防災・危機管理
マナーの安全、安心を守る防災・危機管理
マネージャーの育成を目指します。

救急救命・災害医療・ 公衆衛生対応コーディネーター養成コース

被災者の命を救うために、災害現場（015外
トリアージなど）で必要となる応急処置と、公衆
衛生対策、メンタルヘルスケアなど、多岐にわたる
分野で活躍できる人材の育成を目指します。

学校防災・危機管理マネージャー 養成コース

地域コミュニティと連携して、学校の防災
教育、教育施設計画（ECP）推進、災害、生徒
の安全、安心を守る所長制の育成を目指します。

四国防災危機管理特別プログラムH19から

災害危機対応マネージャーの最初の第一歩 啓発活動 土器川 水防訓練 国交省

ローテクの
防災新聞
スリッパと
探り棒



はだしは危
ないからね



大町コミ防災講座報告

いよいよ本題の始まり



- 1 高松市牟礼町の概要
 - ・ 高松市北東部に位置、五剣山のふもと、人口約18千人
 - ・ 大町コミセン講座開催数は年間150回もある活発地域
- 2 牟礼コミ防災講座概要
 - ・ 平成27年度・28年度に半年間で8回の講座開催
 - ・ 受講生当初は40名から終了時は20名程度
 - ・ 50代から80代、約3割が男性

講座名 「いま、災害が起きたら」 概要 防災学習と実践から牟礼町の連携を考える

27年度防災講座は大町コミ初めての「防災講座」を連続8回開催。応募があるんやろうか、講座の継続できるんやろうか！

スタッフ一同

防災講座科目を企画開始 目的は防災組織と受講生の顔の見える連携

27年度の防災講座

「ご隠居」です。目的は連携の実践に

「お礼居」です。牟礼の「サンタ」です。防災の意識を行動に



「おりつ」です。「防災の連携」って具体的にわかりやすくしようね



防災機関との顔繋がり
スタッフだけでも重複していた
講座企画は前進

教育研究機関



消防団牟礼分団



防災講座受講生



日赤牟礼分団



大町コミ協事務局



牟礼地区自主防災組織



27年度の全8回の講座内容

町内防災組織と顔の見え
る連携。実践形式でさらなる
笑顔で繋がる

- 避難所運営訓練 振り取り発表
- 避難所運営訓練 受付に殺到
- ローテク防災術 探り棒・雨量計・室内避難体験
- アイスブレイク パーステークゲーム 大好評
- 防災機関と連携
- 実践型避難シミュレーション ゲーム 避難の困難・共に助け合いを守る
- 年礼町の防災 地震・津波・液状化・風水害
- 防災を一生懸命・大好きな夏 ちやんです

防災は繰り返し！繰り返し 平成28年度講座開催決定 事務局 「いま、災害が起きたら2」

前年の受講生に「運営スタッフ募
集」がポイントのひとつ
このプラン
メリット多し

スタッフの会 17名が賛同 「誰もが安心できる避難所づくり」決定 4つのグループになり、じっくりと事前準備 する。顔の見えるチーム作り

- (1) グループの担当科目
① 第1回防災前備え ご隣居チーム 4名
地震に備える工夫と風水害の知識情報など
- ② 第2回防災直後避難所へ サンタチーム 4名
自宅から一時避難所として公設避難所へみんなが安全に
- ③ 第3回・4回避難所運営 しんちゃんチーム 4名
避難所の運営 運営委員会・ルール作り 情報伝達
- ④ 第5回安心できる避難所 あゆみんチーム 4名
女性目線の避難所づくり

スタッフの会は専門家
まりちやんに助言をお
願いました



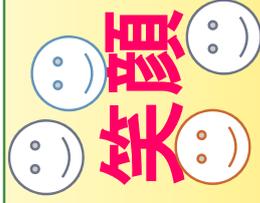
いま、災害が起きたら2 女性目線の避難所をつくらう 防災講座の目的

誰もが安
全・安心で
きる避難
所

避難者カ
ードなど作成
と提案

成果
発表

28年度の防災
講座名



女性目線のレイア
ウト

5つの備え

年礼小体育館で避
難所の運営

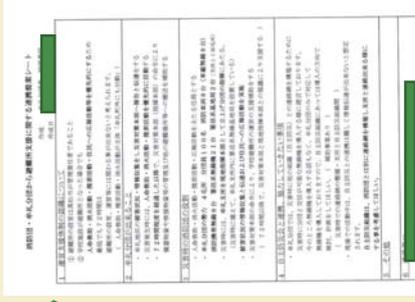
避難所運営に必要とするもの 受講生で考え皆で作る

- ・発表会準備OK
- ・大町コミに備えておく
- ・初動準備 少々OK

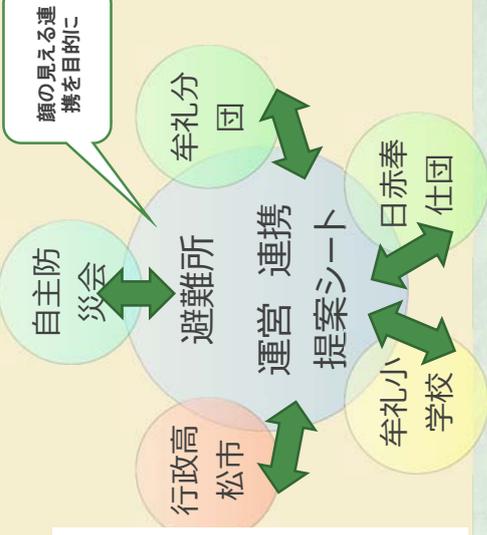
備え1 連携提案シート

講座用に作成したひな形例

- ・自主防災
・牟礼分団
・日赤奉仕団
・小学校



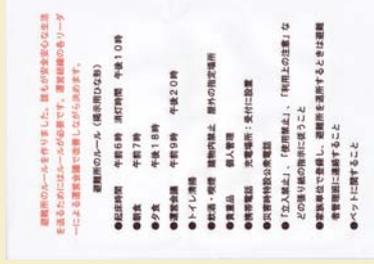
町内防災組織ひな形作成



備え2 行動指標カード 備え3 避難者カード



備え4 避難所のルール



備え5 誰もが安全安心できる避難所 レイアウト



いよいよ講座のメイン発表会、 前日から準備、緊張、緊張！



成果発表 小学校体育館にだれもが安全・ 安心できる避難所を設営

- 1 避難所全景
- 2 受付



- 3 対策本部
- 4 物資
- 5 衝立 市備蓄品



- 6 女性目線
- 7 行動指標カード説明
- 8 要援護



9 医務室



10 相談室



11 学童も参加



12 白木先生講話 13 機能別消防団員



まとめ 目的の成果はあったのか

防災機関との連携は笑顔の継続

避難所運営に必要な備えはコミセンに保管

誰もが安全安心できる避難所作りは

課題は3回へ反映



2年間で踏まえて来年度の防災講座の計画

・第1回スタッフの会予定 3月21日

・家庭ではじめる防災力アップ



災害・危機対応マネージャー としての地域貢献活動

～防災指導・論文応募～

四国防災・危機管理特別プログラム修了生
(徳島大学2期生)
災害・危機対応マネージャー
大宮 佐知子

自己紹介

大宮 佐知子(おおみや さちこ)

徳島県立城南高等学校卒業
野村証券(株)徳島支店に就職
現在、建設コンサルタントで営業補助

四国防災・危機管理特別プログラム
「行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース」
H28. 3月終了

H20から徳島市消防団(東富田分団)に入団
現在、広報啓発班(さくら連)兼務



本日の内容

- 防災講座補助
- 自分で出来ることを探して
- 消防科学技術賞

1.防災講座補助

ファシリテーターとして

日時	講座	主催
2016/2/28(日) 10:00～12:00 13:00～15:00	平成27年度放課後児童支援員等資 質向上研修	徳島県子ども・子育て支援室 徳島県学童保育連絡協議会 徳島市学童保育連絡協議会
2016/7/6(水) 9:30～11:30	南部児童クラブ支援員ネットワーク研 修会	徳島県南部児童クラブ支援員 ネットワーク 徳島県 徳島県教育委員会
2016/9/11(日) 13:30～16:00	平成28年度「徳島県放課後子ども総 合プラン」研修会	香川県危機管理課
2016/11/20(日) 10:40～12:50	平成28年度自主防災組織リーダー研 修会	徳島県人材育成センター 徳島大学環境防災センター
H28.7.2(土) H28.7.10(日) H28.7.24(日) 9:30～17:00	徳島県地域防災推進員養成研修/徳 島大学防災リーダー養成講座(短期 講座)	

平成27年度

放課後児童支援員等資質向上研修会

- 日 時 平成28年2月28日(日) 10:00～15:00(2部)
- 会 場 ふれあい健康館(徳島市沖浜東)
- 対象者 放課後児童支援員・補助員
運営委員・行政担当者
- 人 数 午前37名 午後36名
- 備 考 徳島大学環境防災センター三上先生より依頼
徳島大学生1名、大宮

題 目 「放課後児童クラブにおける南海トラフ地震への心構えと防災対策～地震の揺れ・津波等への備えと訓練～」

内 容 グループワーク

「放課後児童クラブの危険度把握」

「災害中・災害後の対応」

「災害前の対策」

『津波が来ない2グループを担当』

グループワークの準備

ヒントや助言

作業的な補助

南部児童クラブ支援員ネットワーク研修会

- 日 時 平成28年7月6日(水)9:30～11:30
- 会 場 平島公民館 2階(阿南市那賀川町)
- 対象者 南部児童クラブ支援員
- 人 数 40名
- 備 考 徳島大学環境防災センター三上先生より依頼
1期生1名、2期生1名、3期生1名、大宮



グループワークの様子

題目 「避難所で支援員としてできること」

内容 グループワーク
「避難所運営の図上訓練」

『1グループ担当』
グループワークの準備
ヒントや助言
作業的な補助
『地域の消防団の話』(5分)
消防団の活動を紹介

平成28年度

徳島県放課後子ども総合プラン研修会

日時 平成28年9月11日(日)13:30～16:30
会場 あわぎんホール(徳島市藍場町)
対象者 放課後子供教室推進事業運営委員
コーディネーター、教育活動推進員
放課後児童支援員、補助員他
人数 66名
備考 徳島大学環境防災センター三上先生より依頼
1期生1名、2期生1名、3期生2名、4期生1名
大宮

平成28年度自主防災組織リーダー研修会

日時 平成28年11月20日(日) 10:40～12:50
会場 高松国際ホテル(高松市)
対象者 香川県各市町村の自主防災リーダー
人数 45名
備考 徳島大学環境防災センター三上先生より依頼
香川大学修了生・受講生8名、
徳島大学(1期生1名、2期生1名、4期生1名)、
大宮

題目 「南海トラフ巨大地震等の災害から子どもを救うために～様々な時間帯を想定したワークシヨップ～」

内容 グループワーク
「児童クラブ・子ども教室等の危険度把握」
「災害前・災害中・災害後の対応」

『住んでいる地域を担当』
グループワークの準備
ヒントや助言
作業的な補助

題目 「地域における防災訓練を考えてみよう」

内容 グループワーク

「2-3か月に1回の防災訓練」
「年1回の防災訓練」

『写真、全グループ担当』

グループワークの準備
ヒントや助言
作業的な補助
写真撮影



グループワークの様子

2.自分で出来ることを探して

災害危機対応マネージャーとして、
何ができるのかな. 何かしなければ..
とりあえず応募しました！

募集	主催	募集人員
徳島県国土強靱化地域計画及び徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員	徳島県とくしまゼロ作戦課	2名
「まちかど博士」平成28年度募集	公益財団法人 徳島市文化振興公社事務局	-

「徳島県国土強靱化地域計画及び徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員」

応募期間 平成28年7月19日から8月12日

応募資格 徳島県内に居住する
満18歳以上の方

テーマ

「地域の防災力向上について私の意見」

応募の動機

消防団活動と災害・危機対応マネージャーの資格を生かして、BCの観点から**徳島県の防災に貢献したい**

「投稿の内容」

一人一人の意識向上はもちろん、お互いを「知る」ために地域のお祭りや運動会、防災訓練などのイベントを増やすこと。顔の見える関係を築くことの大切をまとめました

「まちかど博士」平成28年度募集

まちかど博士とは、
地域社会のために係わる方法のひとつとして、自分が身につけた知識、技能、経験を「自分以外のために生かしてみたい」という熱い気持ちで研究を深められている人たちのこと

応募期間 平成28年7月15日～9月30日

応募資格 1. 満20歳以上の方
2. 個人の応募に限る

テーマ 自由

平成28年8月29日
決定！

任期
平成28年9月1日から
平成30年3月31日まで



応募の動機

「まちかど博士」に認定されると、身につけた知識等を**自分以外のために生かすことのできる場所**を提供してくれるため

「その気にさせる防災講座のあり方について」
平成27年度「徳島県地震・津波県民意識調査」の結果から見えてくる県民の意識から、楽しめる防災訓練や家具の固定を提案しました

平成28年11月28日認定！



平成29年4月から
「まちかど博士講座」開講！

女性目線で考える“防災”
日 4/16 受講料 無料
ワークショップを通して、災害時など、生き抜くための方法を考えます。
講師：大宮 佐知子 回数：全2回
時間：11:00～12:00 開講曜日：日曜日
場所：活動室(2) 募集人員：20名
開催日：4/16 7/23 対象：女性のみ
材料費：200円

4月から始まる まちかど博士 講座

3. 消防科学技術賞

応募期間 平成28年4月1日から5月6日

募集区分

「消防職員・消防団員等による応募」

1. 消防防災機器等の開発・改良
2. 消防防災科学に関する論文
3. 原因調査に関する事例報告

「一般による応募」

1. 消防防災機器等の開発・改良
2. 消防防災科学に関する論文

応募の動機

実務演習でまとめた消防団の研究成果を発表する場として中野先生から消防庁消防研究センターから届いた案内を渡されたことでした

四国防災・危機管理特別プログラムの実務演習で取り組んだ内容に、19分団長に対して行ったアンケート調査を追加しました。

消防団員への 防災危機意識調査から見た 今後の消防団のあり方に 関する一提案

～“消”防団から消“防”団へ～

徳島市消防団
大宮 佐知子

“消”防団 から 消“防”団へ

消防

防災

事前調査

徳島市消防団19分団詰所設置場所の
「災害危険度(地震・津波・土砂災害・液状化)」の確認

＜調査方法＞

徳島県総合地図提供システム[®]『防災・減災マップ』
を利用

＜調査項目＞

1. 地震危険度(震度)※
2. 津波危険度(浸水深)※
3. 土砂災害警戒区域
4. 液状化危険度※

※震度・浸水深・液状化は南海トラフ巨大地震を想定

アンケート調査(選択式)

＜調査目的＞

南海トラフ地震に対する消防団の危機意識調査

＜対象者＞

徳島市内の消防団19分団の分団長

＜調査期間＞

平成28年4月21日～28日

＜調査用紙＞

A4用紙2枚

＜調査方法＞

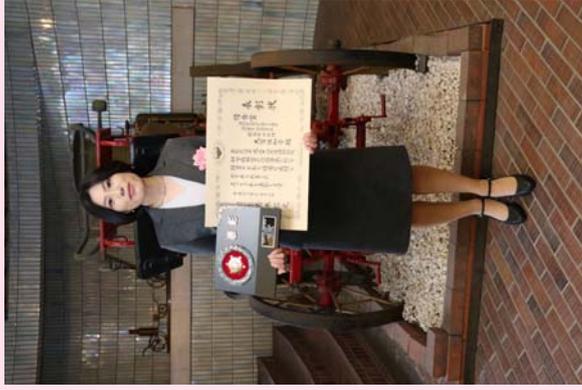
各分団に配布し、返信はFAX

＜回収率＞

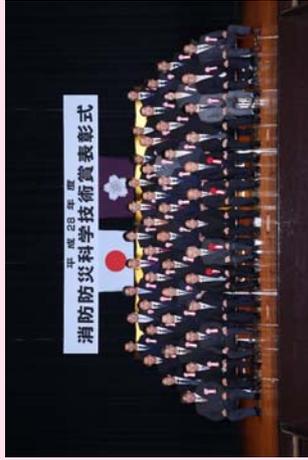
期限内17／19分団(89%)

今後の目標

- ・多くの先生方からお声がかかるフアシリリテ
一ターを目指す
- ・個人として小さくとも発信する場をもつ
- ・女子目線で女性防災力向上



ニッショウホールにて授賞式(H28.11.16)



活動報告をおわります。



ご清聴ありがとうございました